

# 令和 6 年度芝浦港南地区高齢者相談センター 事業評価チェックシート

## 【事業計画・報告に掲げる大項目】

- 1 設置目的達成に向けた取組
- 2 介護予防ケアマネジメント
- 3 総合相談支援
- 4 権利擁護業務
- 5 包括的・継続的ケアマネジメント
- 6 その他の事業
- 7 運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

- a：適切にできている
- b：概ねできている
- c：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。  
（S、A、B、Cの4段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式2）における評価のベースとします。

# 港 区

# 令和6年度芝浦港南地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄	事務局 記入欄
<b>1. 設置目的達成に向けた取組</b>		(選択肢)	記入欄
地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行われている		a ・ b ・ c	a
当初の計画に沿って取組が実施されている		a ・ b ・ c	a
当該年度の業務における課題が明らかになっている		a ・ b ・ c	a
職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる		a ・ b ・ c	a
			A
<b>2. 介護予防ケアマネジメント</b>		(選択肢)	記入欄
要 支 援 1 ・ 2	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a
	必要なモニタリングと評価ができています	a ・ b ・ c	a
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組を行っている	a ・ b ・ c	a
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a
介 護 予 防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができています	a ・ b ・ c	a
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができています	a ・ b ・ c	a
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a
			A

3. 総合相談支援		(選択肢)	記入欄	評 価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A	
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a		
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	a		
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a		

4. 権利擁護業務		(選択肢)	記入欄	評 価
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a ・ b ・ c	a	A	
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a ・ b ・ c	a		
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a ・ b ・ c	a		

5. 包括的・継続的ケアマネジメント		(選択肢)	記入欄	評 価
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a ・ b ・ c	a	A	
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a ・ b ・ c	a		
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a ・ b ・ c	a		

6. その他の事業		(選択肢)	記入欄	評 価
介護予防普及啓発事業を実施している	a ・ b ・ c	a	S	
認知症サポーター養成講座を実施している	a ・ b ・ c	a		
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a ・ b ・ c	a		
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a ・ b ・ c	a		
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a ・ b ・ c	a		

7. 運営体制		(選択肢)	記入欄	評価
配 人 置 員	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	A
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	
体 制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	a	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
	特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a	
施 設 運 営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行われている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行われている	a ・ b ・ c	a	

# 令和6年度芝浦港南地区高齢者相談センター 事業評価コメントシート

高齢者相談センター記入欄				運営協議会 記入欄	
項目		(1) 今年度の取組のプロセスについて、良かった点や工夫した点など	(2) 次年度への課題と対応	評価	コメント
1	設置目的達成に対する取組	・事業計画に沿って職員全員が一丸となり、地域特性に合わせた事業を実施しました。 ・アクセスに課題がある台場地区の高齢者を対象に、台場出張相談会&台場deオレンジカフェ、台場かいごカフェ、介護予防普及啓発事業等、合計12回実施しました。	・次年度も地域のお祭りにブースを出展し、区民に対して高齢者相談センターの周知を図ります。 ・台場地区対応可能な介護支援事業所の調査を継続します。	A	事業計画に基づき、区民からの要望に応え、台場地区での事業を継続的に実施し地区全体に貢献しています。地区住民の特徴を捉え、工夫しながら事業を行っていたことが評価できます。
2	介護予防ケアマネジメント	・総合事業・介護予防ケアプラン件数は年間で2,879件でした。 ・4地区高齢者相談センター共催「介護予防サービス・支援計画作成」オンライン研修会を開催しました。 ・芝浦港南地区居宅介護支援事業所勉強会「総合事業の活動を知ろう」を開催し、総合事業の内容について周知を図りました。	・居宅介護支援事業所へのプラン作成委託に関する研修会を開催します。 ・いきいきプラザ館独自事業調査を継続し、事業一覧表の更新を行っていきます。	A	芝浦港南地区独自で居宅介護支援事業所向けの勉強会を開催し、総合事業の周知を効果的に実施できました。また、介護予防講座の効果的な実施に取り組めていました。
3	総合相談支援	・相談件数は17,297件でした。 ・緊急支援対応は29件でした。職員2名体制で訪問し、安否確認・救急搬送・徘徊対応・受診付き添い等の支援を行いました。 ・認知症支援コーディネーターが認知症に関する相談に対応しています。認知症初期集中支援事業は2回利用しました。	・三職種連携して、高齢者の課題解決に向けた支援を継続します。 ・芝浦港南地区総合支所との連絡会、いきいきプラザ情報交換会等の開催を継続し、地域のネットワーク維持・再構築に努めていきます。	A	増加し続ける相談に対し、地域の関係機関と緊密に連携しながら対応にあたっています。引き続き、関係者との情報共有・連携の徹底を期待します。
4	権利擁護業務	・虐待ケア会議・虐待支援会議等の開催は112回でした。 ・成年後見制度申立は、社会福祉協議会と連携して対応しました。 ・3地区高齢者相談センター共催「成年後見制度講座」を開催しました。 ・かいごカフェ「出前寄席で楽しく学ぼう！ 質賃商法の手口」を開催し、高齢者の消費者被害の予防に努めました。	・高齢者虐待に関する相談が増えているため、適切に虐待対応が出来るよう関係機関との連携構築、職員の資質向上を目的に研修受講を継続します。 ・虐待の予防・早期発見が出来るよう介護支援専門員や介護事業者を対象とした講座の開催を継続します。	A	寄席形式での講座を行うなど、参加しやすい講座づくりに努め、事業を効果的に実施できていました。増加する虐待対応を、関係機関と連携し適切に行いました。
5	包括的・継続的ケアマネジメント	・地区内の居宅介護支援事業所を訪問し、事業所の状況把握を行いました。 ・介護支援専門員向け研修会、事例検討会を開催しました。 ・高齢者相談センター共催「港区の事業について研修会」を年3回開催しました。	・居宅介護支援事業所を訪問することによる事例検討会の開催を継続します。 ・介護支援専門員向け勉強会・研修会を開催します。 ・5地区高齢者相談センター共催研修会を開催します。	A	介護支援専門員向けに研修会・勉強会を開催することで、対応能力の強化を図ることができたとともに、高齢者相談センターとの一層の信頼関係を築くことができました。
6	その他の事業	・介護予防普及啓発事業において民間企業の協力を得て「いきいき美容教室」を開催し好評でした。 ・子ども向け認知症予防普及啓発事業（にんち症についてしろう！）を開催しました。 ・毎月異なるテーマを設定し、かいごカフェ・オレンジカフェを開催しました。	・民間企業の協力を得て、介護予防普及啓発事業を開催していきます。 ・子ども向け認知症予防普及啓発事業の開催を継続します。 ・かいごカフェの参加者定着を目的としたスタンプカードの運用を継続します。	S	民間企業と積極的に協力し事業を実施することで、参加者の満足度、次回への期待をより高めることができています。リピーターの増加がみられていることから、今後の更なる講座内容の充実を期待します。
7	運営体制	・緊急時・災害時マニュアル、業務マニュアルを更新しました。 ・月1回各職員に緊急連絡メールを送信し、送受信状況を確認しました。 ・朝夕の申し送りや月1回の職員間の会議で、情報共有、事例検討を行いました。毎日の引継ぎにおいては社内ICTも用いています。	・福祉総合窓口での勤務について、検討が必要です。 ・業務マニュアルの更新を行います。	A	マニュアルを更新・遵守し、1年を通してセキュリティ事故がなく運営できました。
8	その他	・自治会やサロンからの依頼で、職員が講師となり高齢者サービス・介護保険制度の説明を行いました。 ・認知症による周辺症状から地域で対応に苦慮する高齢者に関する相談が多く、芝浦港南地区総合支所・みなと保健所・社会福祉協議会・病院・警察署・消防署・金融機関等と連携し対応しました。 ・緊急訪問による安否確認・救急搬送、買い物代行、医療機関受診同行、警察に保護された徘徊高齢者の身元引受など、職員が直接対応せざるを得ない事案が今年度も多くありました。			高齢者相談センターとして対応に苦慮する相談が増えていますが、地域の幅広い関係機関と連携を取り、引き続き適切な対応をお願いします。